



(漫画：圓山道子さん)

映画上映会のお知らせ  
第67回 ヒューマンライツ・シアター

上映作品 「あん」  
(上映時間113分・日本語字幕あり)



©2015 映画「あん」製作委員会/COMME DES CINEMAS/TWENTY TWENTY VISION/ZDF-ARTE

**とき**  
令和7年(2025年) **2月23日**(日・祝)  
【午前の部】10時00分開場 10時30分上映開始  
【午後の部】13時30分開場 14時00分上映開始

**ところ**  
**Denkikan** (熊本市中央区新市街8-2)

**定員** 午前・午後ともに **140名** (先着順)

**費用** **入場無料**

**申込** 令和7年(2025年)1月14日(火)から受付開始  
「ひこまるコール」へお申込みください。  
電話 (096-334-1500) または  
ホームページ (https://higomaru-call.jp)

申込者全員【①氏名②電話番号③午前の部か午後の部】  
(参加者の連絡先把握のため申込者全員の情報が必要となります。)  
※1回の申込みは5名まで。お1人1回のみ鑑賞可。

私たちは お客様の  
想いと夢をデザインします…

熊本市西區二本木3丁目12-37  
TEL.096-353-1291 FAX.096-351-4303  
Home page https://www.colony-k.com/ E-mail soumu@colony-k.or.jp

～心とからだの健康づくり～  
**(一財)熊本市文化スポーツ財団**  
子どもからシニア世代まで参加できる  
スポーツ・健康・文化教室開催中!  
https://nrcs.jp

**熊本学園大学**  
KUMAMOTO GAKUEN UNIVERSITY  
【商学部】 | 【経済学部】 | 【外国語学部】 | 【社会福祉学部】 (第一・第二)  
〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5番1号 TEL.096.364.5161(代表) URL www.kumagaku.ac.jp



熊本電気鉄道株式会社  
**中島 敬高** 代表取締役社長  
(令和6年度(2024年度)理事)

「地域の人々と共に社会に貢献していく」  
弊社は1909年(明治42年)8月15日、菊池軌道(株)という軽便鉄道として設立され、今年節目の創立115周年を迎えました。まさに先人たち、現在の社員が、明治、大正、昭和、平成、令和の苦闘の歴史を乗り越えてたどり着いた今日です。  
株主の多くは沿線の住民の方々でした。その設立の過程が示すように、弊社の基本理念は「地域とともに、地域住民のために」として謳っており、その意味は交通運輸事業者(鉄道・バス)として地域に根ざし、地域の人々と共に社会に貢献していくことを表しています。  
当然の事ながら、交通運輸事業以外の事業(観光、不動産、保険)についても、「地域を通して社会貢献」を念頭に取り組んでいるところです。

「交通運輸事業と人権の尊重・配慮」  
事業活動はステークホルダー(従業員、消費者、取引先、株主など)である人と人のつながりで成り立っており、人権の尊重・配慮は企業の社会的責任(CSR)の基本事項と認識しています。  
弊社は経営ビジョンとして、「安全・安心・快適の創造」「21世紀を担う公共交通網の構築」「明日を担う『価値ある人財』の育成」の3つを掲げています。これは、弊社の社会的責任である「地域の人々が自由に移動する権利」を担保するもので、人権の尊重・配慮が根幹にあります。

今後とも、企業として地域住民の皆様のために尽くし、また住民の方々の協力を得ながら、来るべき創立150周年に向けて歩みを進めていきたいと考えています。

ラブミンだよりについてご意見・ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。

〒860-8601  
熊本市中央区手取本町1-1  
熊本市人権啓発市民協議会事務局(熊本市役所人権政策課内)

【電話番号】096-328-2333  
【FAX】096-324-2105  
【ホームページ】https://lovemin.jp/



# Voice

会員の皆様より、社会貢献活動や人権啓発への取り組みについてお話しできます。



熊本市私立幼稚園・認定こども園協会  
**田上 きみ子** 会長  
(令和6年度(2024年度)理事)

熊本市私立幼稚園・認定こども園協会は、熊本市内の40ヵ園の私立幼稚園・認定こども園が加盟している団体です。  
協会の理念として「保護者・地域・行政・施設など、子ども・子育てに関わる全員と連携・協力し、子どもたちのすこやかな成長とより良い教育・保育・子育て環境を実現し、熊本市ならではの誇れる子育て文化を築く。」を掲げています。

協会加盟園は、それぞれの園の創立者が自らの教育理念に基づいて設立されており、教育・保育方針、園の行事、保育の方法も画一的ではなく、各園によって特徴ある保育が行われています。熊本の子どもたちの健やかな成長を願いながら、日々の教育保育に熱心に取り組んでいます。  
当協会では、「各園の保育の質を高める」ことを重点におきながら、今年度も多くの活動を実施しております。中でも「特別支援教育実践研修」に力を入れています。昨今、配慮が必要なお子さんへの対応に苦慮することも多く、保育現場に心理士などの専門家を派遣し、保育者への研修を実施しています。  
乳幼児期は「人生の土台づくり」の時期であり、他者への思いやりや社会的ルールを育てる、良いことや悪い事の区別、などの人権教育に正に取り組むべき時です。保育者は、一人ひとりの子どもをよく理解し、子どもが自ら気づき、考えることを大切にしながら、集団生活を通して道徳性の芽生えを培うように関わることが大切であるとも考えています。  
熊本市の未来を担う子ども達のために、これからも心を尽くして頑張ってまいります。

熊本市人権啓発キャラクター「ラブミン」



人権協ホームページ  
https://lovemin.jp

令和7年2025年

冬号



熊本県認知症介護指導者  
**高橋 恵子**

## プロフィール

熊本県 S40.2月生まれ  
S61年 熊本労災看護専門学校卒業後  
熊本労災病院脳外科リハ科病棟等勤務  
H4年 筑豊労災病院手術室勤務  
H11年 くわみず病院老人病棟勤務  
H12年 社会福祉法人恵寿会 在介勤務  
H12年8月 有限会社せせらぎ設立  
現在、代表取締役、グループホームせせらぎ管理者

有限会社せせらぎは、現在、グループホーム、居宅介護支援事業所(甲佐町、熊本市)、訪問介護事業所(甲佐町、熊本市)、宅老所(御船町)、小規模多機能型居宅介護事業所(甲佐町)など運営している。

## 高齢者の人権について

～自分たちの言動を振り返ること、認知症高齢者を理解することが大切です～

高齢者介護を担う立場で、熊本県内の様々な地域で、「高齢者の人権」という話を民生児童委員や区長さん、老人会や介護施設などで、お話しさせていただく機会があり、私自身も改めて、高齢者の人権とは何かと考えてきました。

全国の在宅や施設の中で起きる高齢者虐待の6割ほどが、認知症高齢者に対する虐待とされています。実際に暴力によって、命を失ってしまった認知症の人もありました。裁判の傍聴席で加害者の話を聞いたこともありましたが、暴力によって救われる人は誰もいないと改めて感じました。

また、虐待と認定しにくいものに心理的虐待と呼ばれるものがあります。相手に対して、人格を傷つける言葉をぶつけてしまうことです。共に暮らす家族なら、夫婦や親子喧嘩の中で、思わず出てしまう言葉もあるでしょう。親子なら仕方ないと思いますか?

みなさんはどこからが、心理的虐待だと思いますか。この機会に、過去に自分自身が思わず口にした言葉や、他人が発した言葉、その意味することや心の内をしっかりと話してみることが大事ではないかと思います。そのタイミングは、心がモヤモヤした時だと思います。みなさんは、話を聞く方か、話をする方かわかりませんが、最初から「そりゃダメでしょ」ではなく、「その時どんな気持ちだったの?」「他に方法はなかったのかな?」と相互に話しあってみてください。自分自身の心の動きに気がつきやすくなります。そして、この小さな取り組みが、周囲の虐待の芽をつむことになると思うのです。

熊本市内でも、人権に配慮し、認知症の人を理解するための様々な活動があります。是非、熊本県や熊本市の人権を守る活動に興味を持って、身近な地域でご参加いただければと思います。

次ページでは認知症の人を理解する取組について紹介しています。